

## ■江差町の都市づくりにおける現状と課題（都市マス策定に向けた現状・課題）

### 1. 自然環境 【江差町の現状】

- 地形：渡島半島西海岸に位置。東側に山地・丘陵地があり、幾つかの小河川が西流。南部は平地が少ないがかもめ島の対岸を中心に市街地が形成。北部は厚沢部川流域を中心に水田耕作地が発達。
- 気候：日本海を流れる対馬海流の影響で道内では比較的温暖。11月から3月が降雪期、降雪の最大深さは90cm(H28.1)。冬季の日本海から吹き付ける北西の強風「たば風」が特徴
- 植生・動植物：南方系と北方系の植物が混在。
  - ・かもめ島や砂坂海岸林は檜山道立自然公園に指定。
  - ・「ヒノキアスナロ及びアオトドマツ自生地」は国指定天然記念物。
  - ・町内にはヒグマやエゾシカ、キタキツネやエゾタヌキなど陸生哺乳類が生息。
  - ・海岸には夏にオオセグロカモメ、冬にはオオワシやオジロワシが飛来。

### 3. 土地利用、市街地・インフラ

- 地目別面積：行政面積(109.53k㎡)のうち、山林61k㎡、宅地2k㎡
- 都市計画の概要：都市計画区域1,352ha、用途地域248.7ha
  - ・商業系用途：本町・茂尻町(商業)、姥神町国道沿線(近商)
  - ・工業系用途：中歌町港湾部(工業)、姥神町港湾部(準工)
  - ・住居系用途：海岸沿い等(一住)、内陸部・山の手(一中高・二中高)商業地域周辺(二住)
  - ・準防火地域と臨港地区の指定
  - ・都市計画道路：9路線11.31km、都市計画公園：4箇所・21.28ha
  - ・公共下水道供用面積は98ha(進捗率36%)
  - ・下水道接続戸数は、接続可能戸数の60%
- 市街地機能の分布、土地利用・開発動向
  - ・生活利便機能は商業・近商地域に集積するが、用途地域外の伏木戸町では道立江差病院など各種施設が立地している。
  - ・町内に商業施設はスーパー2件、コンビニ6件。うちスーパー1軒・コンビニ2件は用途地域外に立地。
  - ・各種施設の徒歩圏は、江差市街地の北部、伏木戸・柳崎に分布している。
  - ・町民の買物は、食料品・日用品は町内、服飾品などは函館市が多い。
  - ・昭和56年以前に建築の建物は約6割。木造棟数割合は9割弱を占める。
  - ・用途地域内、特に商業・近商地域にまとまった未利用宅地は少ない。

### 2. 社会環境

- 人口
  - ・昭和40年のピーク(15,380人)から46%の減少(8,248人・H27)
  - ・平成27年の老年人口割合は34.4%、年少人口割合は9.9%
  - ・世帯規模の縮小、1人・2人世帯の増加。
  - ・地区別人口は、ここ20年で伏木戸町、柳崎町の人口増が顕著である。
- 産業
  - ・就業者数は減少、サービス業、卸売小売業・飲食店の就業者割合が高い。
  - ・産業別では医療・福祉が最も多いが、漁業、林業の特化係数が高い。
  - ・年間商品販売額、製造品出荷額とも減少傾向。
  - ・観光入込客数は檜山管内で最多だが、平成28年はピーク時(H2)の43%。
  - ・月別観光入込客数は、姥神大神宮渡御祭がある8月が最も多い。
  - ・訪日外国人宿泊客数は、ここ2～3年で急増している。
- 歴史・文化
  - ・中世より蠣崎氏・松前藩の交易により発展、17世紀後半からニシン漁が隆盛。
  - ・明治になると箱館戦争の舞台となる。
  - ・当時の歴史・文化を伝える遺構や伝承が多く残されている。
- 町財政(一般会計)：歳入58億円、歳出54億円(H27)
  - ・歳入の4割が地方交付税、歳出の13%が扶助費で増加

### 【社会ニーズ・町民ニーズ等】

#### 4. 町民ニーズ(アンケート調査より)

- 車の保有状況：「家で車を持ち、自分も運転している」割合が71.2%を占める。また郊外部などで車への依存度が高い
- (満足度低・重要度高)：「商業地の賑わい」「観光地の賑わい」「空き地・空き店舗の活用」
- まちづくりで優先して臨むもの：「保健・福祉・医療」「便利で使いやすい」「快適・安心に住める生活環境」の順
- 今後の居住意向：緑丘・円山、市街地南部、都市計画区域北部で転出の意向が高い(理由は生活が不便だから)
- 「中心市街地への機能集約が必要」：53%が「重要」、41%が「伏木戸町・柳崎町への集約も重要」
- 市街地整備の関心ごと：「危険な空き家の解消」「にぎわいの向上」「景観づくり」の順に多い
- 道路整備の関心ごと：「幹線道路」「生活道路」「公共交通」が上位
- 公園整備の関心ごと：「子どもの遊び場」「整備・維持管理のメリハリ」が上位
- 都市景観の関心ごと：「港湾・マリーナ・鷗島」「文化財の保存・活用」「立ち寄りやすい施設整備」が上位
- 防災の関心ごと：「避難場所の確保」「避難路の確保」が上位

#### 5. 上位・関連計画等の整理

##### 土地利用(住・商・工)都市機能

- ・市街地拡大抑制、様々な都市機能がコンパクトに集積した都市構造(整・開・保)／
- ・宿泊・体験型・少人数型観光への転換(総合計画)／
- ・若者の生活基盤を支える仕事づくり(総合戦略)／
- ・若者(子育て世代)が定住するための住環境整備(総合計画)／
- ・高齢者や子育て世帯が暮らしやすい住宅の供給(公営住宅等長寿命化計画)／
- ・土地の高度利用、商業機能の向上促進(整・開・保)／
- ・商店街のにぎわい再生、空洞化を抑制(総合計画)／
- ・かもめ島周辺の「北の江の島構想」を推進(総合計画)／
- ・空き家・空き地など遊休不動産のリノベーション等活用検討(観光戦略書)

##### 主要トピック

旧江光ビルの跡地利活用の検討、空き店舗・跡地活用、北の江の島構想の策定、旧江差駅舎跡地の利用(公営住宅建設)

##### 道路・交通

- ・既存の交通施設を有効活用(整・開・保)／
- ・交通弱者対策、買物困難な高齢者への対策(総合計画)・市街地道路のバリアフリー化(総合計画)

##### 主要トピック

木古内一江差間の高規格自動車専用道の早期事業区間化の促進  
JR江差線線路跡地の新設道路(南ヶ丘団地22号通り・砂川4号通り)  
北部地区の公共交通空白地における予約制タクシーの運行

##### 公園緑地その他都市施設

- ・緑のネットワークを形成するように公園緑地など適正配置(整・開・保)
- ・橋梁の長寿命化によるコスト削減(橋梁長寿命化修繕計画)

##### 主要トピック

公園遊具の日常的な点検と補修、撤去の実施  
馬場山散策道の整備

##### 都市景観

- ・歴史文化と自然資源を生かしたふるさと景観づくり(整・開・保)
- ・歴史的景観ゾーンの魅力の向上(総合計画)

##### 主要トピック

「ふるさと江差の街並み景観形成地区条例」に係る景観形成補助  
景観ワークショップ事業の実施、町内会による花壇整備への助成

##### 防災エネルギー

- ・災害発生の可能性ある地区の市街化抑制(整・開・保)
- ・住宅の耐震化、施設設備の更新・耐震化(総合計画)

##### 主要トピック

江差町プレミアム住宅リフォーム商品券発行事業の実施(省エネ住宅)

##### 協働まちづくり

- ・まちづくり活動組織の育成/協働まちづくりを進める場を拡充(総合計画)
- ・文化や風習、地域資源を維持・創造・継承していく人材育成(総合戦略)

##### 主要トピック

町内一斉クリーンアップ、まちづくりカフェの実施、景観ワークショップ  
町内会による花壇整備

### 【都市づくりの課題】

①自然環境、歴史的環境との調和と都市の継承が必要

②将来にわたる生活利便性の確保が必要

③人口減少社会に対応した、持続的な都市・地域経営が必要

④交流促進・雇用創出につながる、魅力ある都市空間づくりが必要

⑤持続的なコミュニティ、安心して住める環境の確保が必要